

## 第4回 上田市上下水道審議会 次第

日 時 令和5年11月29日（水）午後2時30分

場 所 上田市役所本庁舎5階大会議室

1 開会

2 諮問書提出

3 市長あいさつ

4 会長あいさつ

5 議事

(1) 諮問事項について

(2) 令和4年度上下水道事業会計決算の概要について

6 その他

7 閉会

令和4年度  
上下水道事業会計  
決算の概要

上下水道局

## 令和4年度 水道事業 業務量

項 目		令和4年度	令和3年度	比 較		備 考
				増 減	増減率(%)	
給 水 人 口 (人)		130,217	131,192	△ 975	△ 0.7	
給 水 戸 数 (戸)		59,269	58,780	489	0.8	
年 間 配 水 量 (m <sup>3</sup> )	a	16,948,142	16,894,699	53,443	0.3	
年 間 有 収 水 量 (m <sup>3</sup> )	b	14,173,008	14,232,685	△ 59,677	△ 0.4	
有 収 率 (%)		83.6	84.2	△ 0.6	—	b/a×100
水 道 料 金 調 定 件 数 (件)		379,095	377,483	1,612	0.4	

### 主な建設改良事業

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 管路工事 <span style="float: right;">438,557千円</span></li> <li>【布設】 (8箇所 L=879.6m)</li> <li style="padding-left: 20px;">小玉上郷沢配水管布設工事、(交付金) 大手町配水管布設工事 等</li> <li>【布設替】 (22箇所 L=2269.6m)</li> <li style="padding-left: 20px;">(交付金) 岡送水管布設替工事、山口配水管布設替工事 等</li> <li>・ 施設工事 (管路工事を除く) (63箇所) <span style="float: right;">478,021千円</span></li> <li style="padding-left: 20px;">武石余里水源 湧水ろ過設備設置工事、鹿教湯浄水場 非常用発電機更新工事、石舟浄水場 次亜注入設備更新工事 等</li> </ul>
---

## 令和4年度 水道事業会計 決算状況表

(単位：千円、%)

主な項目		令和4年度	令和3年度	比較	
				増減	増減率
収益的収入及び支出 (税抜)	収入 a	2,782,800	2,724,075	58,725	2.2
	水道料金	2,271,425	2,201,445	69,980	3.2
	一般会計補助金	15,959	17,522	△ 1,563	△ 8.9
	長期前受金戻入	330,156	338,833	△ 8,677	△ 2.6
	その他営業収益等	164,628	158,511	6,117	3.9
	特別利益	632	7,764	△ 7,132	△ 91.9
	支出 b	2,560,078	2,499,650	60,428	2.4
	施設維持管理経費	746,302	691,222	55,080	8.0
	一般管理経費	510,511	504,081	6,430	1.3
	減価償却費等	1,198,789	1,186,930	11,859	1.0
	企業債利子	100,967	114,529	△ 13,562	△ 11.8
	その他雑支出等	3,509	2,722	787	28.9
特別損失	0	166	△ 166	皆減	
当年度純利益 a - b	222,722	224,425	△ 1,703	△ 0.8	
資本的収入及び支出 (税込)	収入 c	716,767	494,837	221,930	44.8
	企業債	554,700	244,400	310,300	127.0
	国庫補助金	35,267	29,875	5,392	18.0
	工事負担金	32,707	136,916	△ 104,209	△ 76.1
	一般会計負担金(消火栓)	20,975	19,011	1,964	10.3
	一般会計補助金	73,118	63,591	9,527	15.0
	固定資産売却代金	0	44	△ 44	皆減
	その他資本的収入	0	1,000	△ 1,000	皆減
	支出 d	1,880,401	2,247,372	△ 366,971	△ 16.3
	建設改良費	1,263,152	1,648,955	△ 385,803	△ 23.4
	企業債償還金(元金)	617,249	598,417	18,832	3.1
差引 c - d	△ 1,163,634	△ 1,752,535	588,901		
一般会計補助金(再掲)	89,077	81,113	7,964	9.8	

供給単価(円/㎡)	160.26円	154.68円	5.58円	3.6
給水原価(円/㎡)	157.25円	154.58円	2.67円	1.7
料金収納率(現年度)(%)	99.46%	99.59%	△ 0.13P	
料金不納欠損	268	1,303	△ 1,035	△ 79.4
人件費	406,788	416,145	△ 9,357	△ 2.2
留保資金残高	2,825,339	2,803,634	21,705	0.8
企業債未償還残高	7,318,774	7,381,323	△ 62,549	△ 0.8

※1 施設維持管理経費＝原水浄水費、配給水費、量水器費、受託工事費、小水力発電費

※2 収益的収支は税抜、資本的収支は税込である。

※3 料金収納率は翌年度5月末現在の数値である。

## 令和4年度 公共下水道事業 業務量

項 目		令和4年	令和3年	比 較		備 考
				増 減	増減率 (%)	
処理区域内人口 (人)	a	124,662	125,077	△ 415	△ 0.3	公共下水道対象人口
利用可能人口 (人)	b	124,216	124,633	△ 417	△ 0.3	
利 用 人 口 (人)	c	118,464	118,484	△ 20	0.0	水洗化人口
普 及 率 (%)		99.6	99.6	0.0	-	$b/a \times 100$
水 洗 化 率 (%)		95.4	95.1	0.3	-	$c/b \times 100$
年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	d	15,200,317	16,045,292	△ 844,975	△ 5.3	
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	e	13,008,531	13,019,826	△ 11,295	△ 0.1	
有 収 率 (%)		85.6	81.1	4.5	-	$e/d \times 100$
使用料調定件数 (件)		332,156	329,251	2,905	0.9	

※参 考(戸数ベース)

項 目		令和4年	令和3年	比 較		備 考
				増 減	増減率 (%)	
利 用 可 能 戸 数		57,162	55,612	1,550	2.8	
利 用 戸 数		53,748	52,084	1,664	3.2	水洗化戸数
未 接 続 戸 数		3,414	3,528	△ 114	△ 3.2	

### 主な建設改良事業

・ 処理場建設工事委託					
上田終末処理場の建設工事委託に関する協定					526,000千円
南部終末処理場の建設工事委託に関する協定					304,360千円
・ 管渠 地震対策(耐震化) 工事					52,968千円
・ 下水道管渠新設、更生工事 管渠延長			L=747.8m		80,638千円
・ 取付管新設工事					43,841千円
・ 鉄蓋更新工事					23,377千円

## 令和4年度 公共下水道事業会計 決算状況表

(単位：千円、%)

主 な 項 目	令和4年度	令和3年度	比 較	
			増 減	増減率
<b>収益的収入及び支出(税抜)</b>				
収入 a	5,860,990	5,893,399	△ 32,409	△ 0.5
下水道使用料	2,460,388	2,454,724	5,664	0.2
一般会計繰入金	2,227,622	2,250,297	△ 22,675	△ 1.0
長期前受金戻入	1,160,850	1,185,852	△ 25,002	△ 2.1
その他営業収益等	9,687	1,790	7,897	441.2
特別利益	2,443	736	1,707	231.9
支出 b	4,600,189	4,585,488	14,701	0.3
施設維持管理経費	869,322	729,115	140,207	19.2
一般管理経費	213,263	209,871	3,392	1.6
減価償却費等	2,927,944	2,989,677	△ 61,733	△ 2.1
企業債利子	585,927	654,723	△ 68,796	△ 10.5
その他雑支出等	3,733	2,102	1,631	77.6
当年度純利益 a - b	1,260,801	1,307,911	△ 47,110	/
<b>資本的収入及び支出(税込)</b>				
収入 c	1,983,855	1,786,951	196,904	11.0
企業債	1,083,100	875,700	207,400	23.7
国庫補助金	503,727	461,301	42,426	9.2
受益者負担金	77,854	108,813	△ 30,959	△ 28.5
工事負担金	9,129	20,437	△ 11,308	△ 55.3
一般会計繰入金	309,045	313,627	△ 4,582	△ 1.5
固定資産売却代金	0	7,073	△ 7,073	皆減
その他資本的収入	1,000	0	1,000	皆増
支出 d	5,053,541	4,919,701	133,840	2.7
建設改良費	1,652,618	1,549,966	102,652	6.6
企業債償還金(元金)	3,399,792	3,369,735	30,057	0.9
補助金返還金	1,131	0	1,131	皆増
差引 c - d	△ 3,069,686	△ 3,132,750	63,064	/
一般会計繰入金(再掲)	2,536,667	2,563,924	△ 27,257	△ 1.1

使用料単価(円/㎡)	189.14	188.54	0.60	0.3
汚水処理原価(円/㎡)	121.23	114.62	6.61	5.8
使用料収納率(現年度)	99.53%	99.57%	△ 0.04P	/
使用料不納欠損	2,209	1,830	379	20.7
人件費	191,038	191,031	7	0.0
留保資金残高	2,274,518	2,237,368	37,150	1.7
企業債未償還残高	29,939,491	32,256,184	△ 2,316,693	△ 7.2

※1 施設維持管理経費＝管渠費、ポンプ場費、処理場費

※2 収益的収支は税抜、資本的収支は税込である。

※3 使用料収納率は翌年度5月末現在の数値である。

## 令和4年度 農業集落排水事業 業務量

項 目		令和4年度	令和3年度	比 較		備 考
				増 減	増減率(%)	
処理区域内人口 (人)	a	23,519	23,758	△ 239	△ 1.0	農業集落排水対象人口
利用可能人口 (人)	b	23,519	23,758	△ 239	△ 1.0	
利 用 人 口 (人)	c	22,384	22,473	△ 89	△ 0.4	水洗化人口
普 及 率 (%)		100.0	100.0	0.0	-	$b/a \times 100$
水 洗 化 率 (%)		95.2	94.6	0.6	-	$c/b \times 100$
年間処理水量 (m <sup>3</sup> )	d	2,028,900	2,077,396	△48,496	△ 2.3	
年間有収水量 (m <sup>3</sup> )	e	1,995,235	2,017,939	△ 22,704	△ 1.1	
有 収 率 (%)		98.3	97.1	1.2	-	$e/d \times 100$
使用料調定件数 (件)		56,129	55,721	408	0.7	

※参 考 (戸数ベース)

項 目		令和4年度	令和3年度	比 較		備 考
				増 減	増減率(%)	
利 用 可 能 戸 数		10,125	10,079	46	0.5	
利 用 戸 数		9,510	9,393	117	1.2	水洗化戸数
未 接 続 戸 数		615	686	△ 71	△ 10.3	

### 主な建設改良事業

・ 下之郷、古安曾処理場機械設備更新工事	59,719千円
・ 小泉処理場機械設備更新工事	31,790千円
・ 上洗馬処理場施設機能強化工事	21,362千円
・ 処理場非常用発電機設置工事	23,848千円
・ 取付管新設工事	11,308千円

令和4年度 農業集落排水事業会計 決算状況表

(単位:千円、%)

主な項目	令和4年度	令和3年度	比較	
			増減	増減率
<b>収益的収入及び支出(税抜)</b>				
収入 a	1,311,717	1,349,783	△ 38,066	△ 2.8
農集排使用料	372,868	375,836	△ 2,968	△ 0.8
一般会計繰入金	591,193	620,349	△ 29,156	△ 4.7
その他営業収益等	707	811	△ 104	△ 12.8
長期前受金戻入	346,376	352,630	△ 6,254	△ 1.8
特別利益	573	157	416	265.0
支出 b	1,126,453	1,151,148	△ 24,695	△ 2.1
施設維持管理経費	350,779	342,700	8,079	2.4
一般管理経費	36,343	41,493	△ 5,150	△ 12.4
減価償却費等	638,444	648,656	△ 10,212	△ 1.6
企業債利子	100,597	117,837	△ 17,240	△ 14.6
その他雑支出	290	462	△ 172	△ 37.2
当年度純利益 a - b	185,264	198,635	△ 13,371	
<b>資本的収入及び支出(税込)</b>				
収入 c	468,741	349,745	118,996	34.0
企業債	126,500	33,000	93,500	283.3
国・県補助金	12,481	523	11,958	2286.4
工事負担金	50,734	40,544	10,190	25.1
一般会計繰入金	279,026	275,678	3,348	1.2
支出 d	924,044	804,892	119,152	14.8
建設改良費	162,846	48,301	114,545	237.1
企業債償還金(元金)	761,198	756,591	4,607	0.6
差引 c - d	△ 455,303	△ 455,147	△ 156	
一般会計繰入金(再掲)	870,219	896,027	△ 25,808	△ 2.9

使用料単価(円/m <sup>3</sup> )	186.88	186.25	0.63	0.3
汚水処理原価(円/m <sup>3</sup> )	213.41	212.19	1.22	0.6
使用料収納率(現年度)	99.28%	99.39%	△ 0.11P	
使用料不納欠損	619	1,072	△ 453	△ 42.3
人件費	20,249	26,011	△ 5,762	△ 22.2
留保資金残高	1,054,242	1,032,893	21,349	2.1
企業債未償還残高	4,703,257	5,337,955	△ 634,698	△ 11.9

※1 施設維持管理経費＝管渠費、処理場費

※2 収益的収支は税抜、資本的収支は税込である。

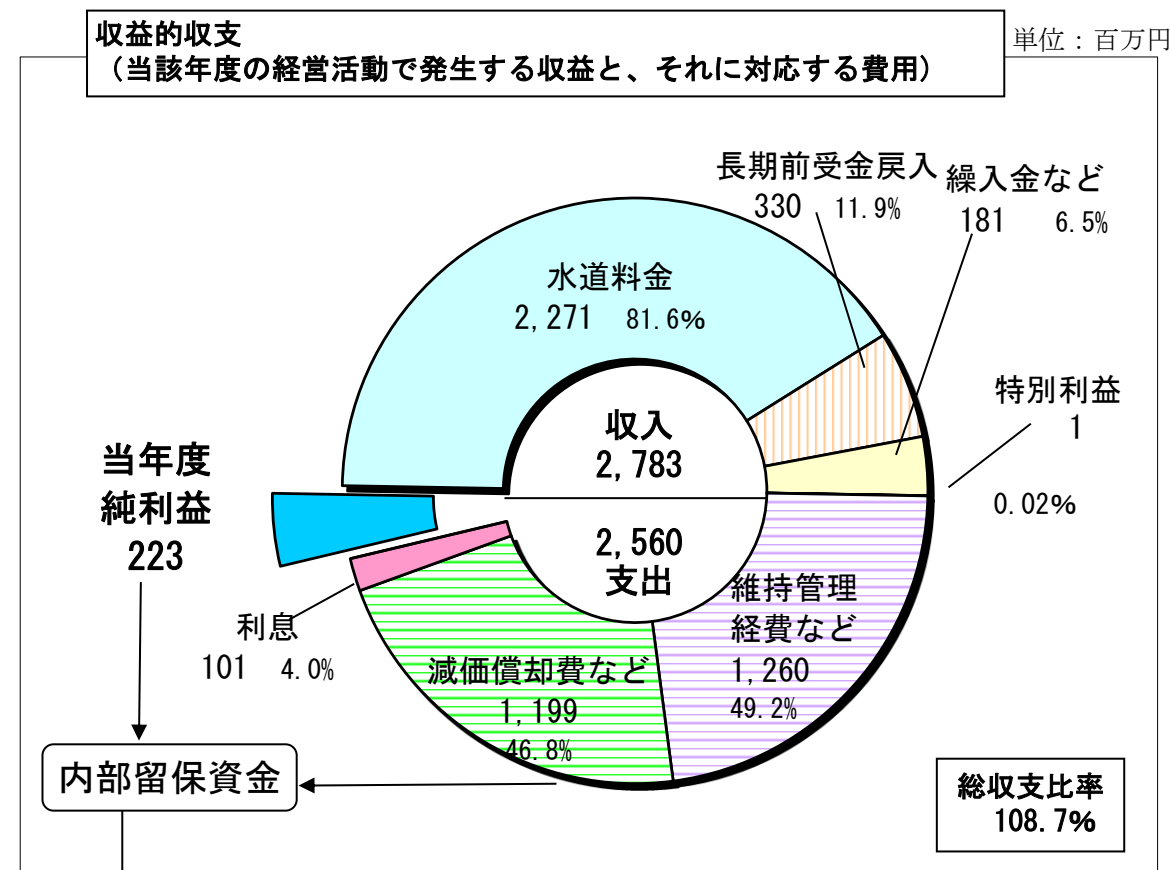
※3 使用料収納率は翌年度5月末現在の数値である。



# 令和4年度上田市上下水道事業会計決算の概要

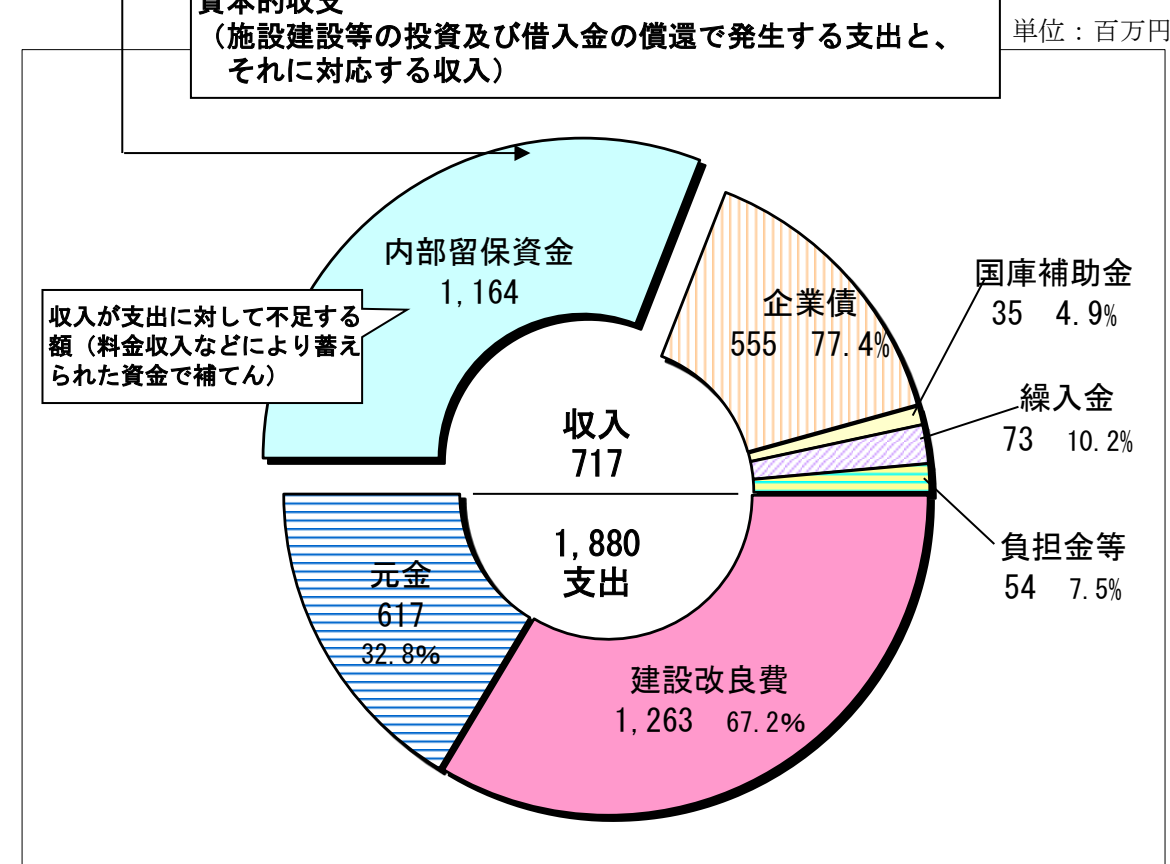
令和5年11月29日  
上下水道審議会資料  
1-2

## 水道事業会計

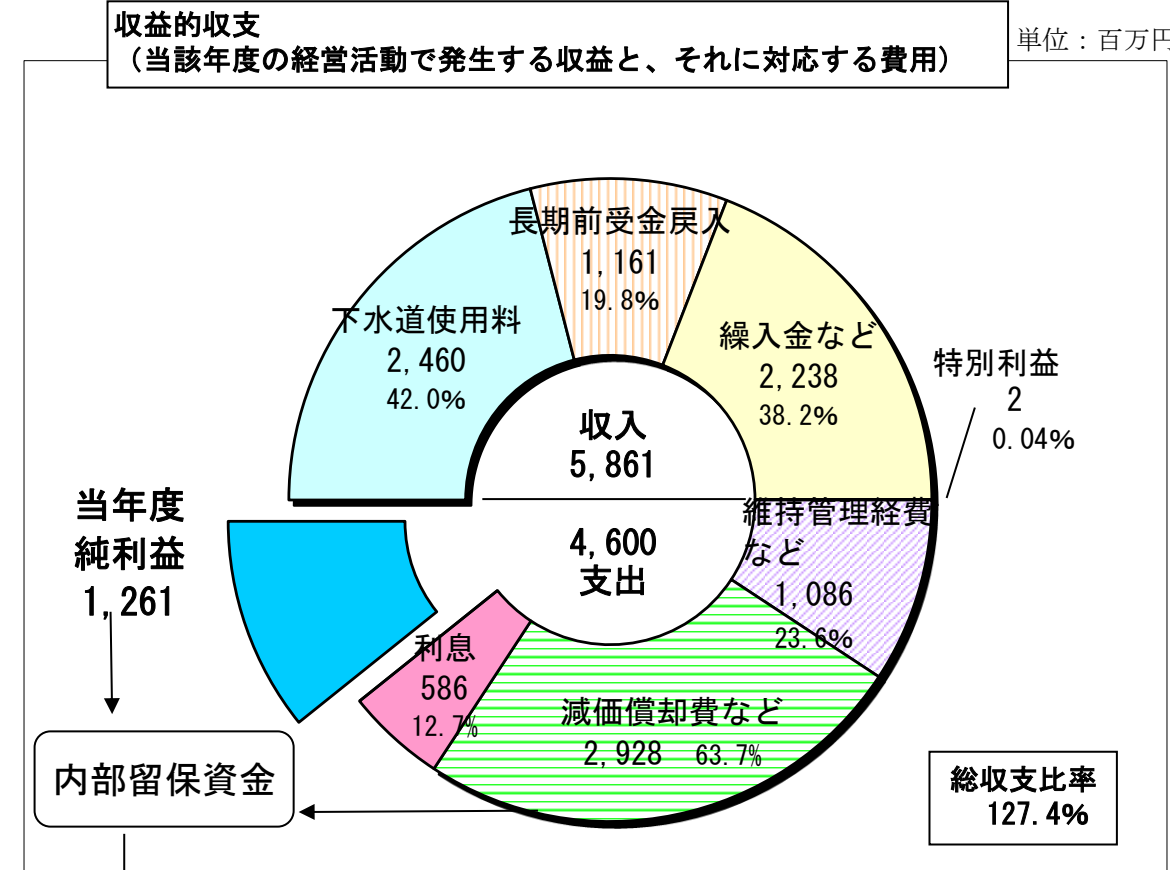


※ 当年度純利益、減価償却費などは資本的収入における内部留保資金となる。

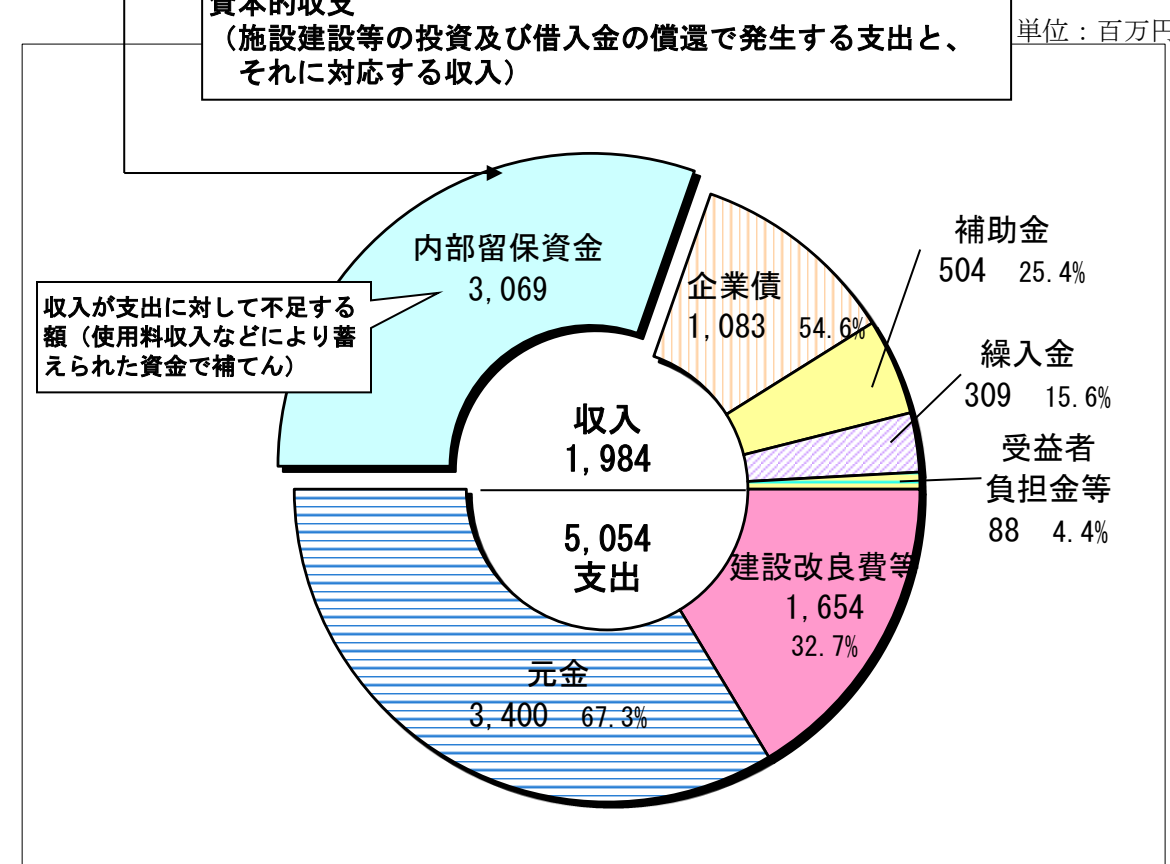
### 資本的収支 (施設建設等の投資及び借入金の償還で発生する支出と、それに対応する収入)



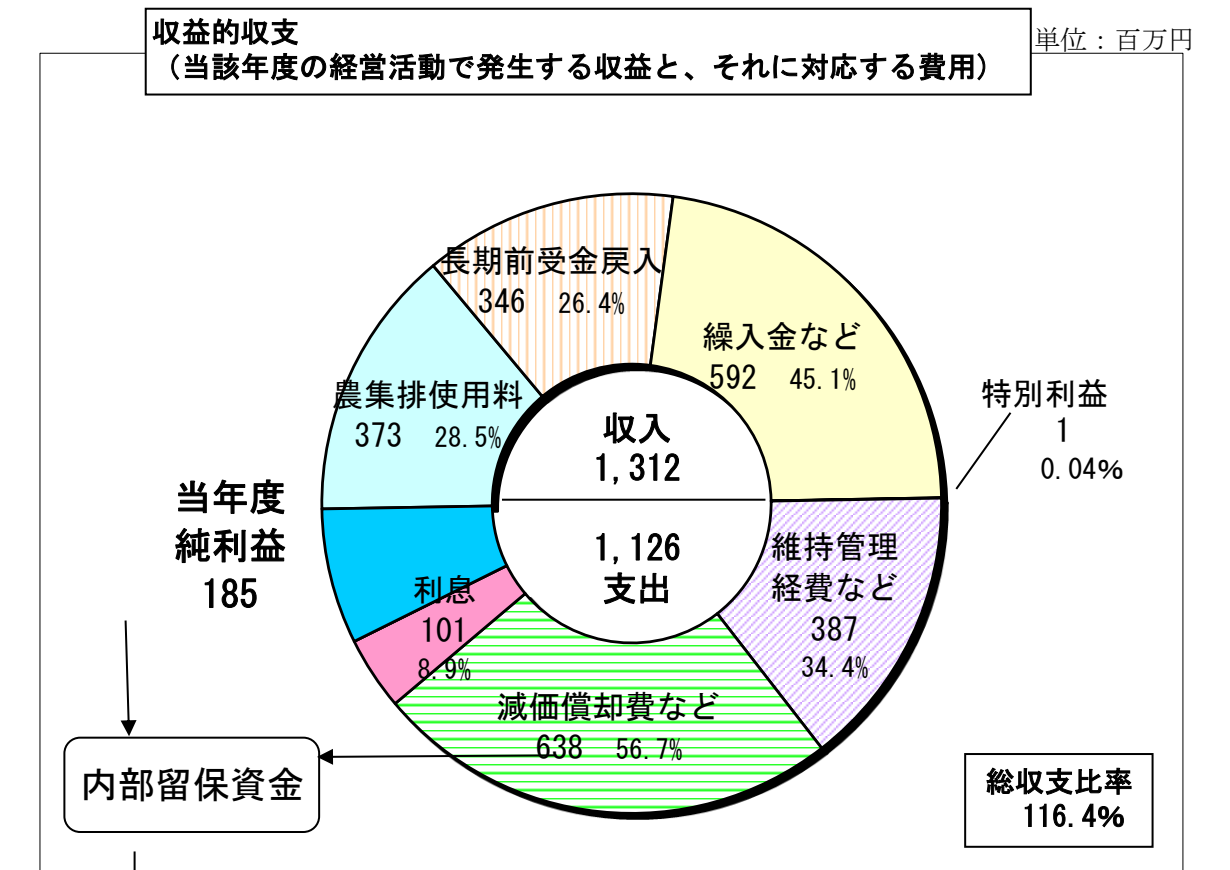
## 公共下水道事業会計



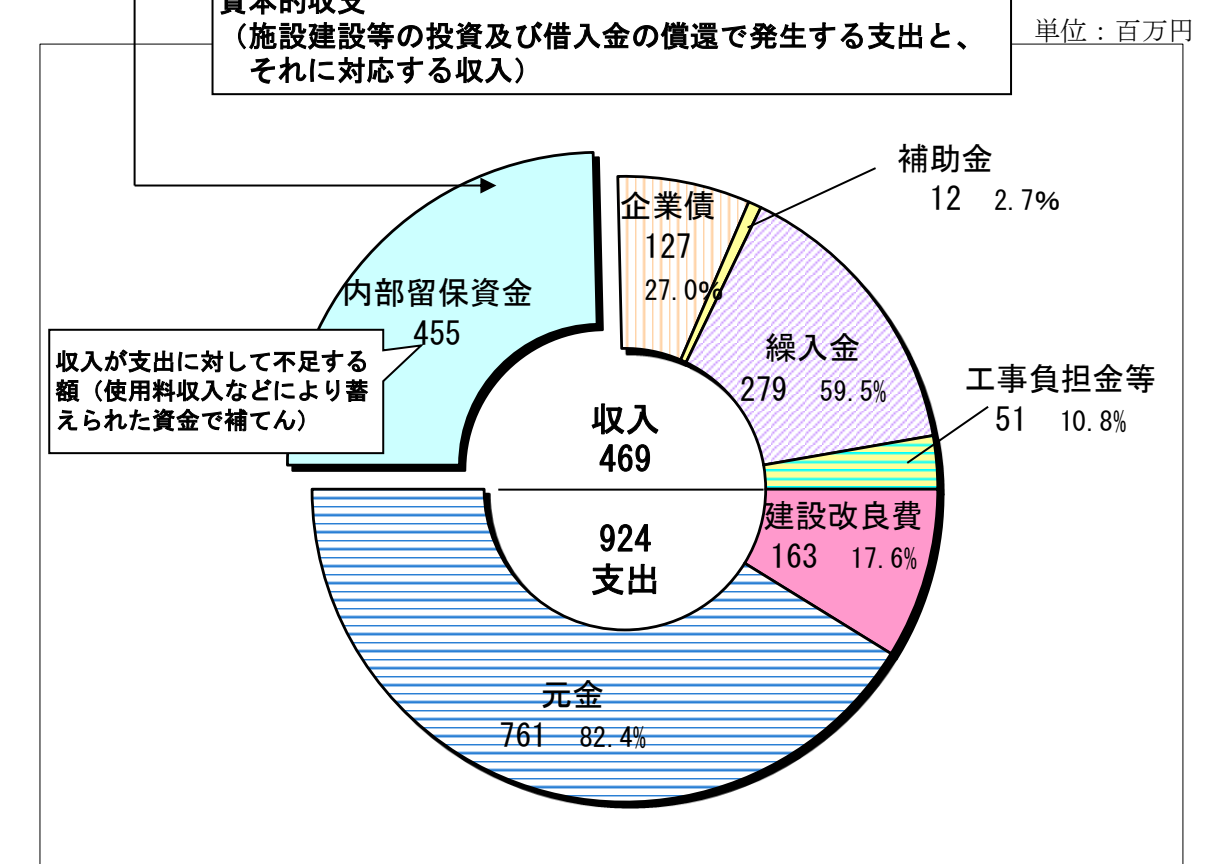
### 資本的収支 (施設建設等の投資及び借入金の償還で発生する支出と、それに対応する収入)



## 農業集落排水事業会計



### 資本的収支 (施設建設等の投資及び借入金の償還で発生する支出と、それに対応する収入)



### 【決算の状況】

- 1 収益的収入は27億8,300万円、前年度比2.2%増  
水道料金収入は、料金改定の影響により3.2%増
- 2 収益的支出は25億6,000円、前年度比2.4%増  
原水及び浄水費、減価償却費等が増加
- 3 当年度純利益は2億2,300万円

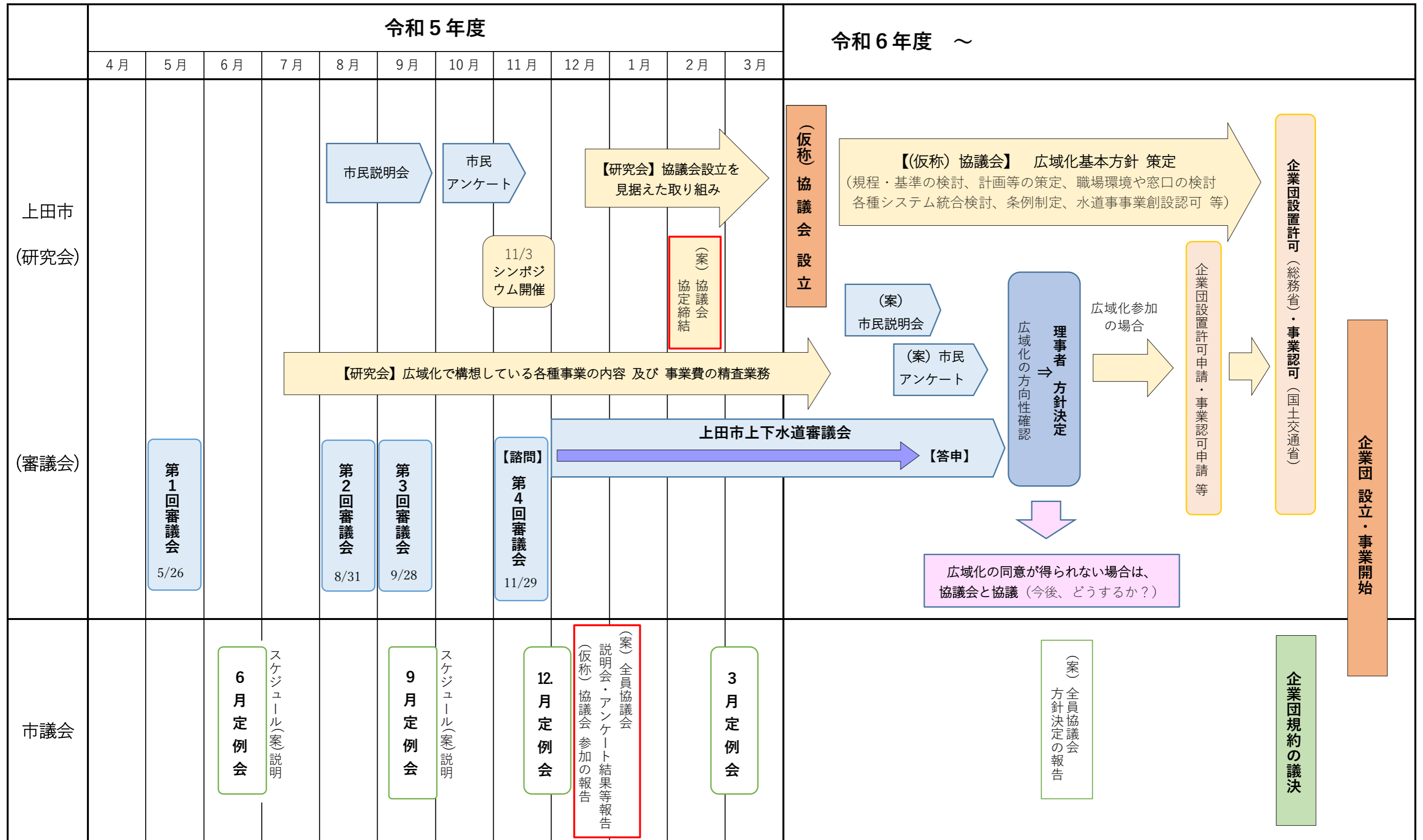
### 【決算の状況】

- 1 収益的収入は58億6,100万円、前年度比0.5%減  
下水道使用料収入は、0.2%増
- 2 収益的支出は46億円、前年度比0.3%増  
維持管理経費が増加
- 3 当年度純利益は12億6,100万円

### 【決算の状況】

- 1 収益的収入は13億1,200万円、前年度比2.8%減  
農集排使用料収入は、0.8%減
- 2 収益的支出は11億2,600万円、前年度比2.1%減  
減価償却費、支払利息等が減少
- 3 当年度純利益は1億8,500万円

# 水道事業広域化の検討のスケジュール（案）



## 広域化協議会の概要（案）

項 目		内 容	備 考
名 称		(仮) 上田長野間広域化検討協議会	
目 的		研究会で整理された課題について詳細な検討を行う。 企業団設立に向けた準備を行う。	
所 掌 事 務		組織体制、運営体制、施設整備、財政運営に係る検討	
構 成 員		(長野県) 公営企業管理者 (長野市) 上下水道事業管理者 (上田市) 上下水道局長 (千曲市) 建設部長 (坂城町) 建設課長	要検討
役 員	会 長	1名 構成員の互選	
	副 会 長	〃	要検討
事 務 局	設置場所	〇〇 (未定)	
	組織体制	各団体から10名程度を派遣し事務局職員を置く。 (県) 2～3名 (長野市) 3～4名 (上田市) 2名 (千曲市) 1～2名 (坂城町) 1名	
	派遣方法	要綱・規約に基づく派遣を中心に各事業体市町の状況により決定	
	事務局長	会長の所属する団体から派遣された管理職	
	所掌事務	<ul style="list-style-type: none"> <li>■協議会等の協議資料の作成に関すること</li> <li>■協議会等のスケジュール管理、庶務等に関すること</li> <li>■広域化基本計画の策定に関すること</li> <li>■先進地等情報収集</li> <li>■イベント（市民説明会・議会視察等）の調整</li> <li>■各調整項目の進捗管理、部会長と連携し調整内容のとりまとめ</li> <li>■調整項目の一部 各団体の担当レベルでの調整が不要又は少ない企業団固有の業務等 例：運営組織、執行機関、事務局、議会、監査委員等</li> </ul>	スケジュールの見直しに伴う作業工程及び担当項目の見直し
経 費 支 弁	協議会の事務に要する費用は、構成団体が負担 <ul style="list-style-type: none"> <li>■事務局に従事する職員の給与等はそれぞれの構成団体で負担</li> <li>■他経費は前年度末の末端給水事業における給水人口の割合で負担</li> </ul>	負担方法は設置場所や派遣方法による	
R 6 予 算	<ul style="list-style-type: none"> <li>■事務費 (備用品・通信・印刷・賃借料・委託費・負担金等)</li> <li>■旅費（派遣元団体が負担することも可能か）</li> </ul>	R 8年4月 企業団事業開始想定	

## 水道事業に関するアンケート調査の概要

### 1 調査の目的

このアンケート調査は、将来の水道事業のあり方を検討していく上で、上田市民の水道水に対する満足度や水道事業に対する要望等の意見を把握することを目的に実施しました。

### 2 アンケートの概要

- (1) 調査地域 上田市内全域
- (2) 対象者 市内に居住する満18歳以上の方 4,000人  
(令和5年10月1日時点で、無作為抽出による)
- (3) 調査期間 令和5年10月16日～11月3日
- (4) 調査方法 郵送による配布、郵送又はWebによる回答
- (5) 有効回収数 1,604人（郵送1,427人、Web177人）
- (6) 回収率 40.1%

### 3 調査結果(速報)

問1 お住まいの地域を教えてください。

地域	調査数	回答数	割合
上田地域（市営水道エリア）	3,097人	996人	40.1%
上田地域（県営水道エリア）		247人	
丸子地域	553人	208人	37.6%
真田地域	275人	107人	38.9%
武石地域	75人	36人	48.0%
無回答	-	10人	-
合計	4,000人	1,604人	40.1%

問2 年代を教えてください。

年齢	人数	割合
10代	19人	1.2%
20代	85人	5.3%
30代	104人	6.5%
40代	170人	10.6%
50代	218人	13.6%
60代	308人	19.2%
70代	401人	25.0%
80代以上	298人	18.6%
無回答	1人	0.1%
合計	1,604人	100.0%

問3 世帯の人数を教えてください。

世帯人数	人数	割合
1人	207人	12.9%
2人	659人	41.1%
3人	346人	21.6%
4人	228人	14.2%
5人以上	161人	10.0%
無回答	3人	0.2%
合計	1,604人	100.0%

問4 お使いの水道水について、どの程度満足されていますか？(1つお選びください)

項目	人数	割合
満足している	709人	44.2%
まあ満足している	647人	40.3%
やや不満である	99人	6.2%
不満である	31人	1.9%
どちらとも言えない	67人	4.2%
わからない	29人	1.8%
無回答	22人	1.4%
合計	1,604人	100.0%

問5 水道事業の経営は、お客様にお支払い頂いた水道料金収入で賄われています(独立採算制)が、そのことを知っていましたか？(1つお選びください)

項目	人数	割合
知っていた	735人	45.8%
水道料金と税金が半々くらいだと思った	361人	22.5%
大部分が税金だと思った	66人	4.1%
知らなかった	426人	26.6%
無回答	16人	1.0%
合計	1,604人	100.0%

問6 水道料金について感じていることを教えてください。(1つお選びください)

項目	人数	割合
高いと思う	619人	38.6%
妥当だと思う	704人	43.9%
安いと思う	37人	2.3%
特に意識したことはない	235人	14.7%
無回答	9人	0.6%
合計	1,604人	100.0%

問7 問6のように感じる理由を教えてください。(複数選択可)

項 目	回答数	割合
他の公共料金と比べて	337	21.0%
他の市区町村と比べて	235	14.7%
家計に占める割合から	403	25.1%
何となくそう感じる	346	21.6%
2か月に1度の請求のため	343	21.4%
下水道使用料と同じ月の請求のため	282	17.6%
水道水の安定供給に必要な維持管理コストを考慮して	245	15.3%
水道料金を自分で支払っていないため	96	6.0%
その他	75	4.7%
無回答	44	2.7%

(n=1,604)

問8 水道に関する広報の中で、見たことのあるものをすべてお答えください。(複数選択可)

項 目	回答数	割合
ホームページ	126	7.9%
X (旧Twitter) などのSNS	22	1.4%
広報うえだ	1,342	83.7%
県企業局広報紙「けんえいすいどう」	244	15.2%
無回答	133	8.3%

(n=1,604)

問9 水道に関する広報について、どのような情報の提供があると良いですか？(複数選択可)

項 目	回答数	割合
災害対策への取り組み	716	44.6%
老朽化対策への取り組み	941	58.7%
水道に関する手続き方法	168	10.5%
トラブル発生時の対応方法	865	53.9%
施設見学などのイベント情報	131	8.2%
水源や水道水の水質検査結果	650	40.5%
経営状況	243	15.1%
その他	30	1.9%
無回答	51	3.2%

(n=1,604)

問10 災害等により断水が発生した際に情報を得る方法について、有効であると思うものを教えてください。  
(複数選択可)

項目	回答数	割合
ホームページ	580	36.2%
防災無線	395	24.6%
X (旧Twitter) などのSNS	442	27.6%
広報車による巡回	1,104	68.8%
避難所や公共施設での情報提供	655	40.8%
その他	66	4.1%
無回答	24	1.5%

(n=1,604)

問11 今回添付した資料「水道事業の将来について一緒に考えよう」はわかりやすかったですか？  
(1つお選びください)

項目	人数	割合
よくわかった	241	15.0%
だいたいわかった	1,166	72.7%
あまりわからなかった	133	8.3%
わからなかった	26	1.6%
無回答	38	2.4%
合計	1,604	100.0%

問12 水道事業が抱える以下の現状について知っていましたか？ (複数選択可)

項目	回答数	割合
人口減少に伴う料金収入の減少	725	45.2%
施設の老朽化及び耐震化に伴う修繕・更新費用の増加	926	57.7%
水道事業に携わる職員の不足	243	15.1%
自然災害などに対する危機管理対策	294	18.3%
節水機器の普及に伴う水需要の減少	86	5.4%
知らなかった	456	28.4%
無回答	18	1.1%

(n=1,604)

問13 老朽施設の更新や耐震化に取り組むには多額の費用が必要となりますが、今後、施設の更新や耐震化に対してどのように取り組んでいくべきと思われますか？ (1つお選びください)

項目	人数	割合
水道料金が上がっても、できるだけ早く取り組んでほしい	638	39.8%
水道料金への影響をできるだけ抑えるよう、時期は遅れてもかまわない	496	30.9%
水道料金を上げてまで、対策の必要はない	53	3.3%
わからない	286	17.8%
その他	118	7.4%
無回答	13	0.8%
合計	1,604	100.0%

問14 水道事業を安定経営していくための一つの手段として、隣接する複数の水道事業者(市町村)と広域化する

ることにより、施設や人材の効率的な運用を図る方法があります。

現在、このような取り組みを国や県が推進していることを知っていますか？(1つお選びください)

項目	人数	割合
知っていた	151	9.4%
何となく知っていた、聞いたことはあった	447	27.9%
知らなかった	993	61.9%
無回答	13	0.8%
合計	1,604	100%

問15 現在、上田市では長野市、千曲市、坂城町、長野県企業局と水道事業の広域化を検討していますが、このような取り組みについてどのように考えますか？(1つお選びください)

項目	人数	割合
取り組むべき	446	27.8%
どちらかといえば取り組むべき	556	34.7%
どちらかといえば取り組むべきでない	106	6.6%
取り組むべきではない	51	3.2%
どちらでもよい	130	8.1%
わからない	294	18.3%
無回答	21	1.3%
合計	1,604	100.0%

問16 水道事業を広域化した場合、期待することは何ですか？(複数選択可)

項目	回答数	割合
水道料金の値上幅の抑制	1,086	67.7%
災害時の対応力	795	49.6%
水質などの安全性	724	45.1%
専門人材の育成・確保	284	17.7%
水道設備の更新や耐震化(国の補助金を活用)	777	48.4%
サービスの向上	237	14.8%
施設の統廃合などによる維持管理・投資の効率化	351	21.9%
特にない	68	4.2%
その他	30	1.9%
無回答	18	1.1%

(n=1,604)



問17 水道事業を広域化した場合、不安・課題に思うことは何ですか？（複数選択可）

項 目	回答数	割合
水道料金の値上幅の抑制	705	44.0%
災害時の対応力	580	36.2%
水質などの安全性	632	39.4%
専門人材の育成・確保	133	8.3%
水道設備の更新や耐震化（自治体間の優先順位）	432	26.9%
サービスの低下（お客様窓口の集約化など）	606	37.8%
上田市の意向が反映されづらくなる	549	34.2%
下水道事業の分離による業務効率の低下	327	20.4%
特にない	83	5.2%
その他	32	2.0%
無回答	16	1.0%

(n=1,604)

問18 今後、水道事業に期待することについて、あてはまるものを3つまで選んでください。

項 目	回答数	割合
安全に飲める水道の供給	1,416	88.3%
安い水道料金体系	854	53.2%
地震等の災害に強い水道	885	55.2%
水道についての情報提供など、利用者サービスの充実	163	10.2%
老朽化した施設の更新	603	37.6%
経営の効率化	163	10.2%
地球環境への配慮	161	10.0%
その他	25	1.6%
無回答	6	0.4%

(n=1,604)

# 水道事業に関するアンケート

令和5年11月29日  
上下水道審議会 当日資料3-2

- ※ 回答は設問ごとの説明にしたがって、あてはまる番号（数字）に○をつけてください。  
※ 選択肢で「その他」を回答された場合は、（ ）に具体的な内容をご記入ください。

## 問1 お住まいの地域を教えてください。

1. 上田地域（市営水道エリア）
2. 上田地域（県営水道エリア：塩田地域、仁古田地区、小泉地区の一部）
3. 丸子地域
4. 真田地域
5. 武石地域

## 問2 年代を教えてください。

1. 10代
2. 20代
3. 30代
4. 40代
5. 50代
6. 60代
7. 70代
8. 80代以上

## 問3 世帯の人数を教えてください。

1. 1人
2. 2人
3. 3人
4. 4人
5. 5人以上

## 問4 お使いの水道水について、どの程度満足されていますか？（1つお選びください）

1. 満足している
2. まあ満足している
3. やや不満である
4. 不満である
5. どちらとも言えない
6. わからない

## 問5 水道事業の経営は、お客様にお支払い頂いた水道料金収入で賄われています（独立採算制）が、そのことを知っていましたか？（1つお選びください）

1. 知っていた
2. 水道料金と税金が半々くらいだと思った
3. 大部分が税金だと思った
4. 知らなかった

## 問6 水道料金について感じていることを教えてください。（1つお選びください）

1. 高いと思う
2. 妥当だと思う
3. 安いと思う
4. 特に意識したことはない

## 問7 問6のように感じる理由を教えてください。（複数選択可）

1. 他の公共料金と比べて
2. 他の市区町村と比べて
3. 家計に占める割合から
4. 何となくそう感じる
5. 2か月に1度の請求のため
6. 下水道使用料と同じ月の請求のため
7. 水道水の安定供給に必要な維持管理コストを考慮して
8. 水道料金を自分で支払っていないため
9. その他（ ）

問8 水道に関する広報の中で、見たことのあるものをすべてお答えください。(複数選択可)

1. ホームページ
2. X (旧Twitter) などのSNS
3. 広報うえだ
4. 県企業局広報紙「けんえいすいどう」(県営水道)

問9 水道に関する広報について、どのような情報の提供があると良いですか？(複数選択可)

1. 災害対策への取り組み
2. 老朽化対策への取り組み
3. 水道に関する手続き方法
4. トラブル発生時の対応方法
5. 施設見学などのイベント情報
6. 水源や水道水の水質検査結果
7. 経営状況
8. その他( )

問10 災害等により断水が発生した際に情報を得る方法について、有効であると思うものを教えてください。(複数選択可)

1. ホームページ
2. 防災無線
3. X (旧Twitter) などのSNS
4. 広報車による巡回
5. 避難所や公共施設での情報提供
6. その他( )

問11 今回添付した資料「水道事業の将来について一緒に考えよう」はわかりやすかったですか？(1つお選びください)

1. よくわかった
2. だいたいわかった
3. あまりわからなかった
4. わからなかった

問12 水道事業が抱える以下の現状について知っていましたか？(複数選択可)

1. 人口減少に伴う料金収入の減少
2. 施設の老朽化及び耐震化に伴う修繕・更新費用の増加
3. 水道事業に携わる職員の不足
4. 自然災害などに対する危機管理対策
5. 節水機器の普及に伴う水需要の減少
6. 知らなかった

問13 老朽施設の更新や耐震化に取り組むには多額の費用が必要となりますが、今後、施設の更新や耐震化に対してどのように取り組んで行くべきと思われますか？(1つお選びください)

1. 水道料金が上がっても、できるだけ早く取り組んでほしい
2. 水道料金への影響をできるだけ抑えるよう、時期は遅れてもかまわない
3. 水道料金を上げてまで、対策の必要はない
4. わからない
5. その他( )

問14 水道事業を安定経営していくための一つの手段として、隣接する複数の水道事業者(市町村)と広域化することにより、施設や人材の効率的な運用を図る方法があります。現在、このような取り組みを国や県が推進していることを知っていますか？(1つお選びください)

1. 知っていた
2. 何となく知っていた、聞いたことはあった
3. 知らなかった

問15 現在、上田市では長野市、千曲市、坂城町、長野県企業局と水道事業の広域化を検討していますが、このような取り組みについてどのように考えますか？(1つお選びください)

1. 取り組むべき
2. どちらかといえば取り組むべき
3. どちらかといえば取り組むべきでない
4. 取り組むべきではない
5. どちらでもよい
6. わからない

問16 水道事業を広域化した場合、期待することは何ですか？(複数選択可)

1. 水道料金の値上幅の抑制
2. 災害時の対応力
3. 水質などの安全性
4. 専門人材の育成・確保
5. 水道設備の更新や耐震化(国の補助金を活用)
6. サービスの向上
7. 施設の統廃合などによる維持管理・投資の効率化
8. 特にない
9. その他( )

問17 水道事業を広域化した場合、不安・課題に思うことは何ですか？(複数選択可)

1. 水道料金の値上幅の抑制
2. 災害時の対応力
3. 水質などの安全性
4. 専門人材の育成・確保
5. 水道設備の更新や耐震化(自治体間の優先順位)
6. サービス低下(お客様窓口の集約化など)
7. 上田市の意向が反映されづらくなる
8. 下水道事業の分離による業務効率の低下
9. 特にない
10. その他( )

問18 今後、水道事業に期待することについて、あてはまるものを3つまで選んでください。

1. 安全に飲める水道の供給
2. 安い水道料金体系
3. 地震等の災害に強い水道
4. 水道についての情報提供など、利用者サービスの充実
5. 老朽化した施設の更新
6. 経営の効率化
7. 地球環境への配慮
8. その他( )

その他ご意見等ございましたら、ご自由に記入してください。

自由記載

# ～ 水道事業の将来について 一緒に考えよう ～

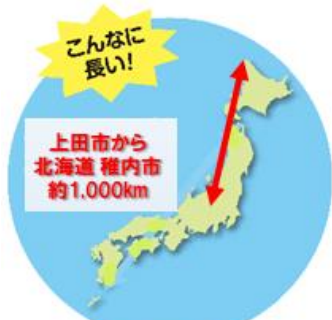
令和5年11月29日  
上下水道審議会  
当日資料3-3

## ～ 上田市の水道の今と課題 ～

蛇口を開ければ飲める「水道水」ですが、「水道水」がどのように蛇口まで届いているかご存知ですか？  
身近にある水道の今と将来の課題について簡単にご説明します。



《イメージ》



こんなに長い！  
上田市から北海道 稚内市 約1,000km



水道とは、皆様が飲む水をお届けするために使用する**管路と施設の全てを指す言葉**です。  
管路の長さはとても長く、**上田市営水道**の管路は **約1,000km** になります。  
(**県営水道**は約1,500km)

そんなに長い管路やたくさんの施設があると管理が大変そう！  
**税金を使って経営しているの？**



**いいえ！**  
経営に必要な費用は**お客様からいただいた水道料金**によってまかなわれています。

**なるほど！**  
**私たちが支払った料金が使われているんだ！**



**そうです！**  
しかし、**人口減少社会**を迎えて、水道事業の**経営は厳しくなっていく**ことが想定されています。  
**上田市営水道**では**将来の課題と対応**について**検討**しています。  
**県営水道**

安心・安全な水を将来に渡って安定して使い続けるためには、  
どうしたらよいのでしょうか？

(この資料は、県営水道、長野市営水道、千曲市営水道のそれぞれの資料を、上田市が一部加工し作成しました。)

# 水のこと、もっと、

## 私たちはどのくらい水を使っているの？

私たちは、家にいるときさまざまな場面で水を使っています。  
お風呂や洗濯、トイレ、掃除など…。

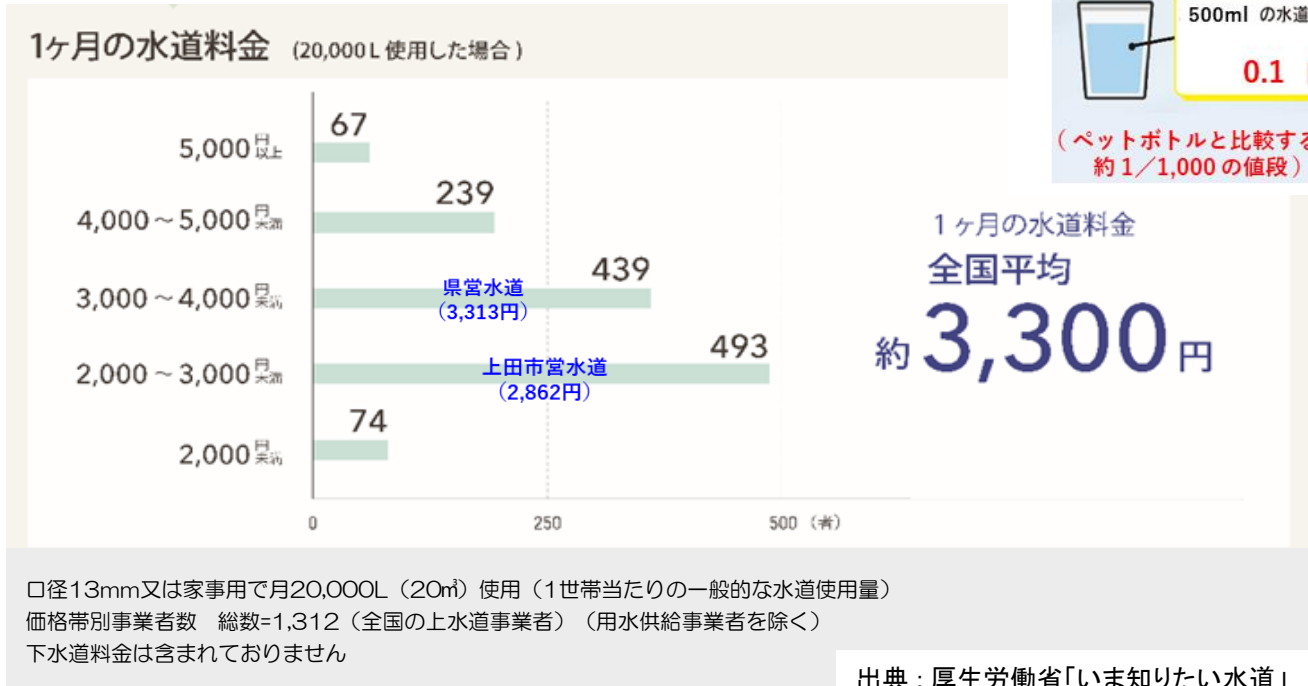
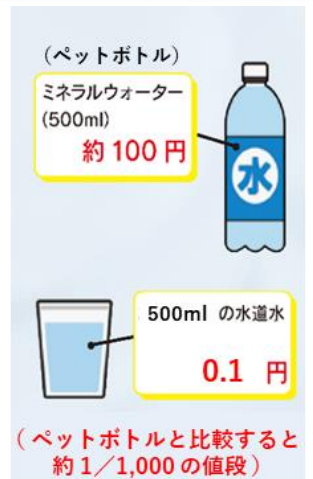
家庭内で1日に使用する水量を1人あたりに換算すると約230Lとなります。  
(使用する頻度や水量には個人差があります。)



出典：厚生労働省「いま知りたい水道」

## 私たちが払っている水道料金は？

日本の水道料金は、全国平均で水1L当たり約0.2円ですが、  
実際の水道料金は、地域によって異なります。



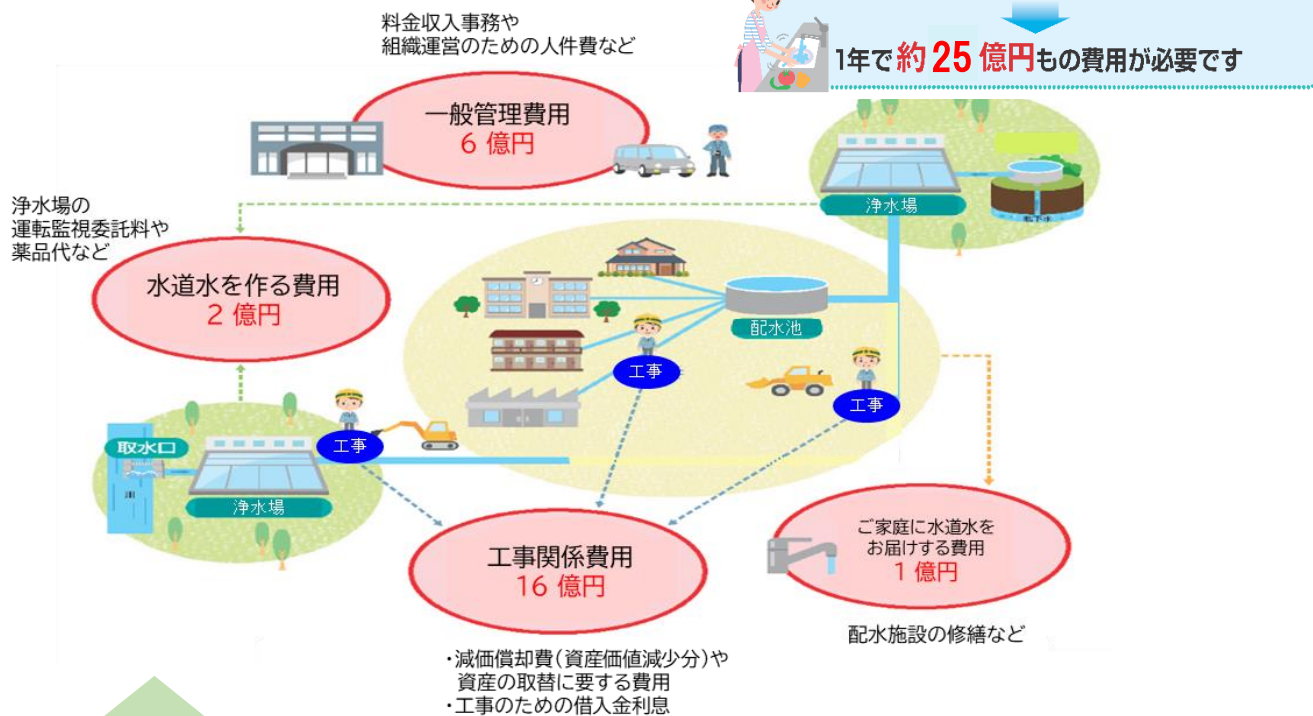
水道料金の違いは、単に経営状況の良し悪しを示すものではなく、事業経営の考え方などにより異なります。

- (例)
- ・ 立地条件 (水質の良し悪し、水源からの距離など)
  - ・ 人口密度が高い、低い
  - ・ 施設、管路の更新に投資してきたか など

# 知ってほしい!

【上田市営水道の場合】（令和4年度決算）

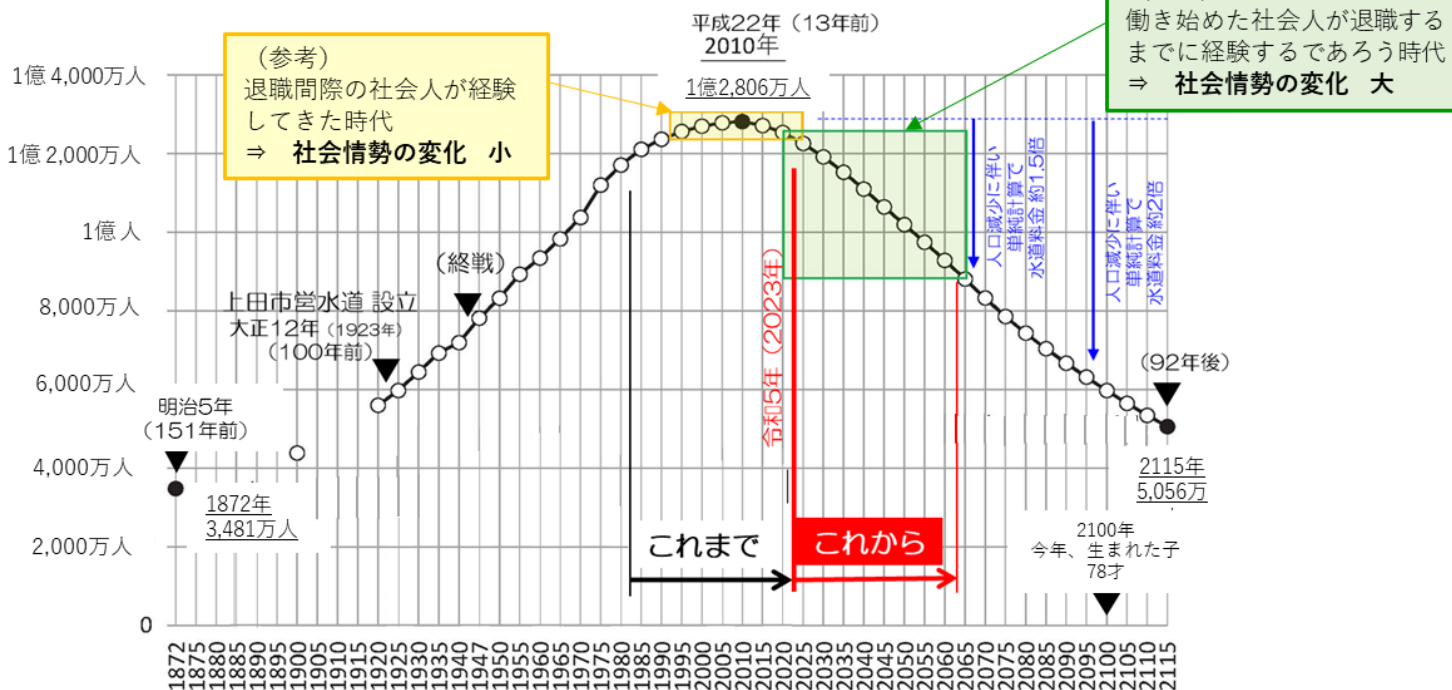
## 水道料金の使い方は？



## 日本の人口推計は？

### これまでの40年間、これからの40年間

～ 誰も経験したことのない人口減少社会を迎えて～



（特別講演）「水道事業の現状と課題（厚労省水道課 熊谷課長）」講演資料より作成

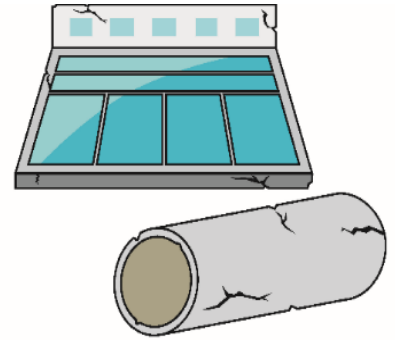
# 水道事業の現状と課題

個々の事業体で水道事業を実施していくとこんなことが課題に…

## 施設や管路の整備

水道施設等の老朽化と耐震性不足

配水管の法定耐用年数はおよそ40年。管路や水道施設の耐震化も必要です。



## 危機管理対策

近年多発する大規模災害や渇水時等、緊急時のバックアップ体制が必要に!!



## 水道料金

人口減少に伴う給水人口、水の使用量の減少  
今後50年間で人口は現在の約6割に。人口が減少傾向にあるため、使用する水の量が確実に減ります。そのため、水道施設等を維持整備するための資金(料金収入)が減り、水道料金の値上げが必要になります。



## 水道事業に携わる人材

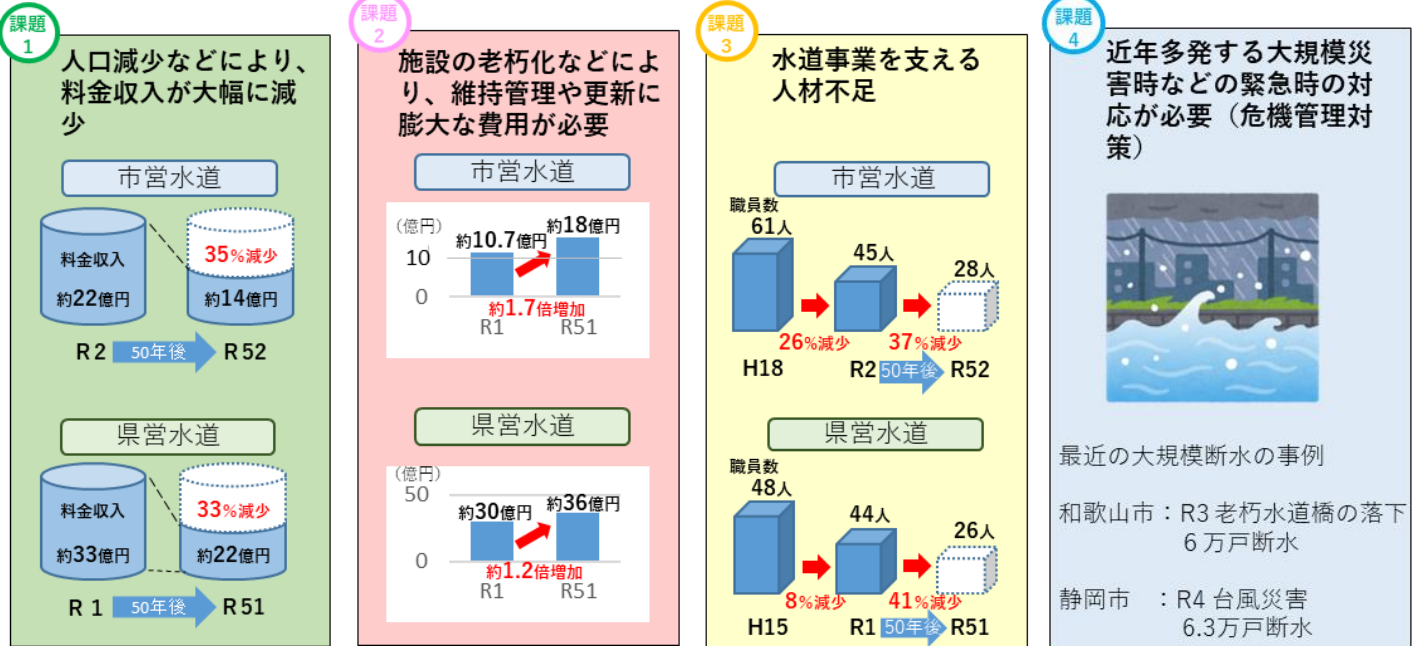
水道事業に携わる専門人材の不足  
人口減少や高齢化により労働力も不足します。



# 上田市営水道と県営水道は？

課題1、課題2は研究会の財政シミュレーションより  
課題3は将来推計人口と同じ割合で減少した場合

将来予測から見える課題には次のようなものがあります。



上田市営水道は、全国と比較すると、施設や管路の耐震化が遅れており、また、老朽化した施設や管路が多い。特に管路更新率は、0.48%(約200年に1回)の割合。

事業体名	浄水場数	配水池数	施設利用率 (高い方が効率が良い)	浄水施設の 経年化率 (低い方が良い)	浄水施設の 耐震化率 (高い方が良い)	配水池の 耐震化率 (高い方が良い)	管路延長	管路経年化率 (低い方が良い)	管路更新率 (高い方が良い)	管路耐震化率 (高い方が良い)	基幹管路の耐震管率 (高い方が良い)
上田市営水道	5箇所	101箇所	55.5%	60.7%	13.7%	33.9%	1,032 km	12.1%	0.48%	9.8%	28.8%
県営水道	2箇所	67箇所	61.1%	0.0%	100%	87.5%	1,460 km	8.9%	0.44%	18.3%	40.5%
合計・平均	4事業合計 32箇所	4事業合計 440箇所	全国平均：H30 59.8%	全国平均：H30 4.1%	全国平均：R1 32.6%	全国平均：R1 58.6%	4事業合計 5,056 km	全国平均：H30 15.6%	全国平均：H30 0.60%	全国平均：H30 12.3%	全国平均：R1 40.9%



# 水道の未来をみんなで考えてみませんか？

上田市営水道や県営水道は、水道事業の将来を考え、  
「**水道事業の広域化**」について検討しています

広域化は、水道事業の運営をすべて民間に委託する民営化とは違います！

水道の広域化  
って何？



水道の広域化とは、複数の水道事業者が水道事業を統合し、運営する仕組みのことです。

上田市は、皆様の水道料金で運営していますが、将来の人口減少による料金収入の減少、老朽化する施設の更新費用の増加等が見込まれます。これらの課題に対応するため、**上田市は、県営水道、長野市、千曲市、坂城町**と将来を見据えて、水道事業のあり方を考えています。

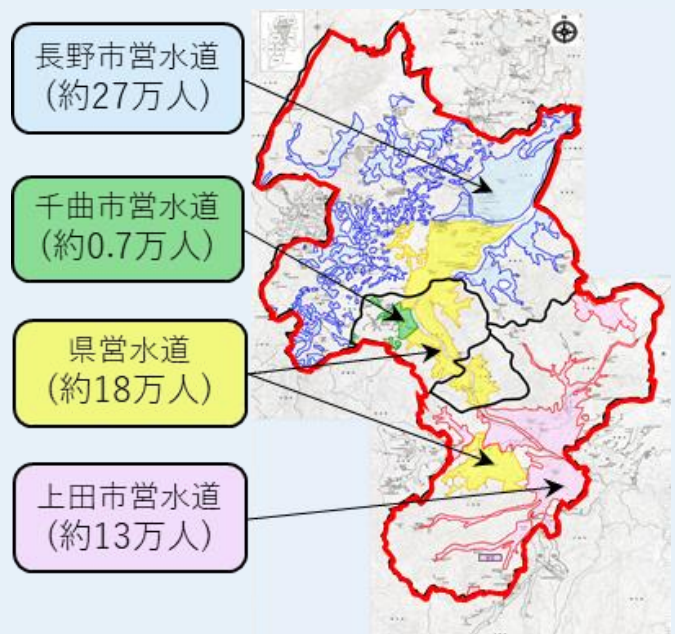


## なぜ今、広域化（広域連携）の検討をするのか

水道事業が抱える課題に対し、独立採算により健全経営を維持するには、水道料金の大幅な値上げと水道事業に係る経費の相当な削減が必要となります。

このため、上田長野間の4つの水道事業者（右図）が広域化（広域連携）することで、高低差を利用した自然流下による水道水の運用とスケールメリットを活かし、将来の水道料金の値上げを抑制し、経費の削減を図り、基盤を強化することができないか検討しています。

水道事業者名	給水人口
長野市営水道	約 27 万人
千曲市営水道	約 0.7 万人
県営水道	約 18 万人
上田市営水道	約 13 万人
全体（合計）	約 59 万人

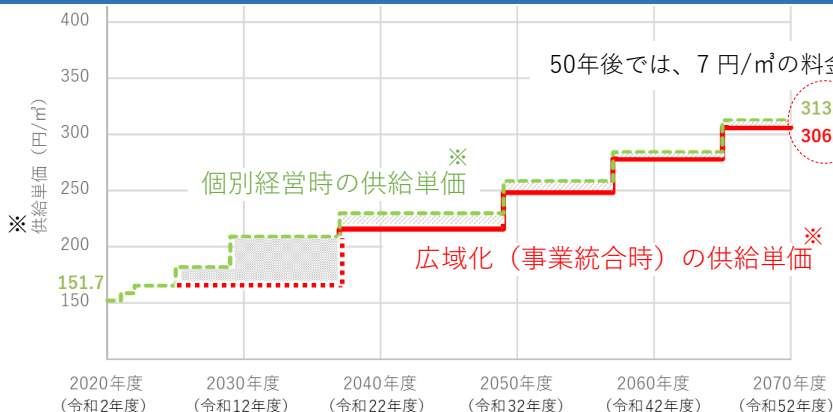


県営水道及び上田市・千曲市・長野市の各市営水道が一つに統合し、  
「**新たな水道企業団の設立**」を構想しています。（坂城町は全域が県営水道です）

# 個別経営と事業統合した場合の財政シミュレーション結果

広域化に取り組むことにより国からの財政支援が得られることや、事業規模の拡大による経営の効率化が図られることにより、将来の**水道料金の値上げを抑制**することができるかと試算されました。

## 【上田市営水道】 将来の供給単価<sup>※</sup>の推移（個別経営と広域化の比較）



50年後では、7 円/m<sup>3</sup>の料金の抑制が示されました。

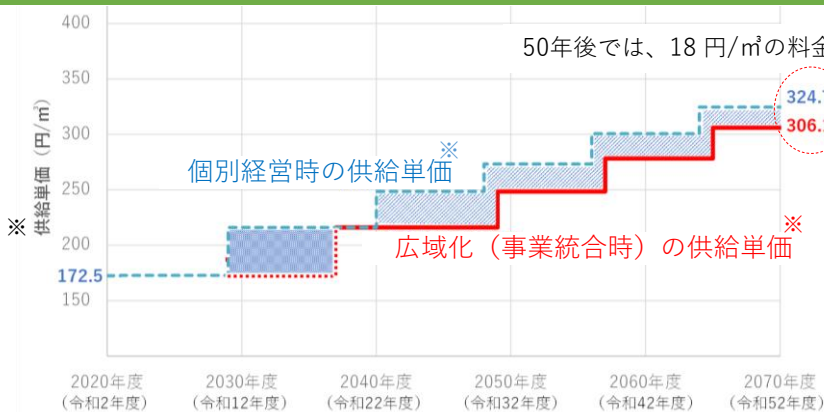
※「供給単価」とは水道水 1 m<sup>3</sup>当りの販売単価です。

上田市営水道では、**50年間で94億円（約2億円/年）の料金の抑制効果**が示されました。

上田市営水道のR4の収入は約25億円。

将来の収入が約20億円/年とすると、**約1割の抑制効果**となります。

## 【県営水道】 将来の供給単価<sup>※</sup>の推移（個別経営と広域化の比較）



50年後では、18 円/m<sup>3</sup>の料金の抑制が示されました。

県営水道では、**50年間で192億円（約4.2億円/年）の料金の抑制効果**が示されました。

### 【経営面の効果】

### 【利用者の効果】

事業体別		50年間の削減効果	平均年間1人当たりの削減効果
市営水道		94億円	1,909円/人/年
県営水道	(上田市～長野市 全体)	192億円	2,753円/人/年
上田市 全体では	市営水道 + 県営水道	119億円	2,037円/人/年

【上田長野地域水道事業広域化研究会報告書（令和4年3月公表）より】

# 広域化した場合の将来の水運用（構想）

## 染屋浄水場の区域

諏訪形浄水場の上田市内区域（オレンジ点線範囲）を増

## 諏訪形浄水場の区域

上田市内（オレンジ点矢印先のオレンジ点線範囲）を除き、千曲市営区域（緑点線範囲）、四ツ屋浄水場区域（紫色点線範囲の一部）を増

## 四ツ屋浄水場の区域

現在の給水区域（紫色点矢印先の紫色点線範囲）を縮小（紫色実線範囲）し、余剰水量を犀川浄水場へ送水（犀川以北の紫色実線範囲相当分）

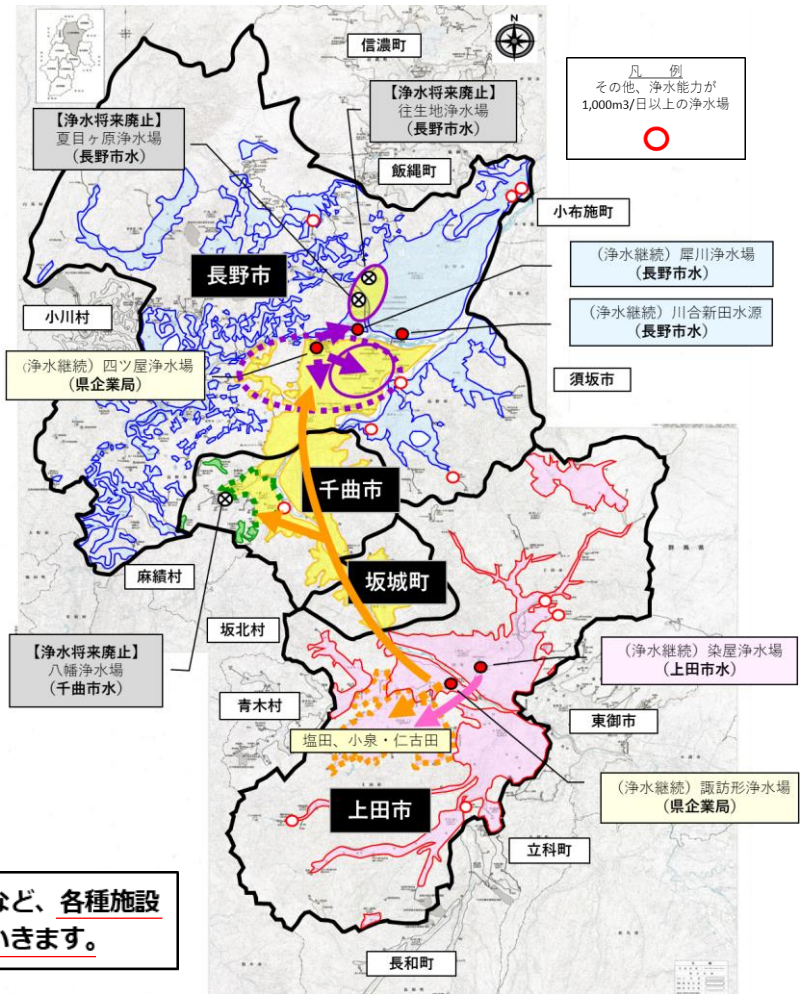
八幡浄水場（千曲市内）、往生寺浄水場、夏目浄水場（長野市内）は更新しない（将来廃止予定）  
（灰色の引き出し施設）



**この更新、維持管理費用等の削減が地域全体のプラスの効果となります。**  
（施設の統廃合により水運用の効率を図り、費用削減効果を生み出す）



**これは一例であり、その他の浄水場やポンプ場、配水池など、各種施設においても統廃合の検討を行い、経費削減効果を上げていきます。**



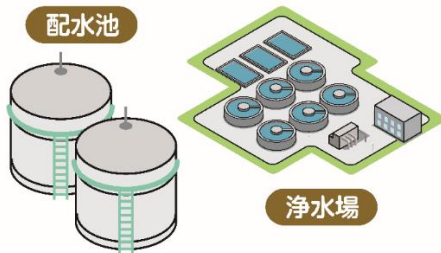
# 広域化の効果と問題点

広域化(事業統合)すると、国から財政支援(補助金)が得られるため

## 効果は



配水池や浄水場、水道管などの水道設備の更新や耐震化が進みます。



水道料金の値上げの幅を小さくし、将来を担う子供たちの負担を減らします。



水道事業に携わる専門人材の育成・確保が進むようになります



## 問題点は



広域化すると、新たに企業団を設立することから

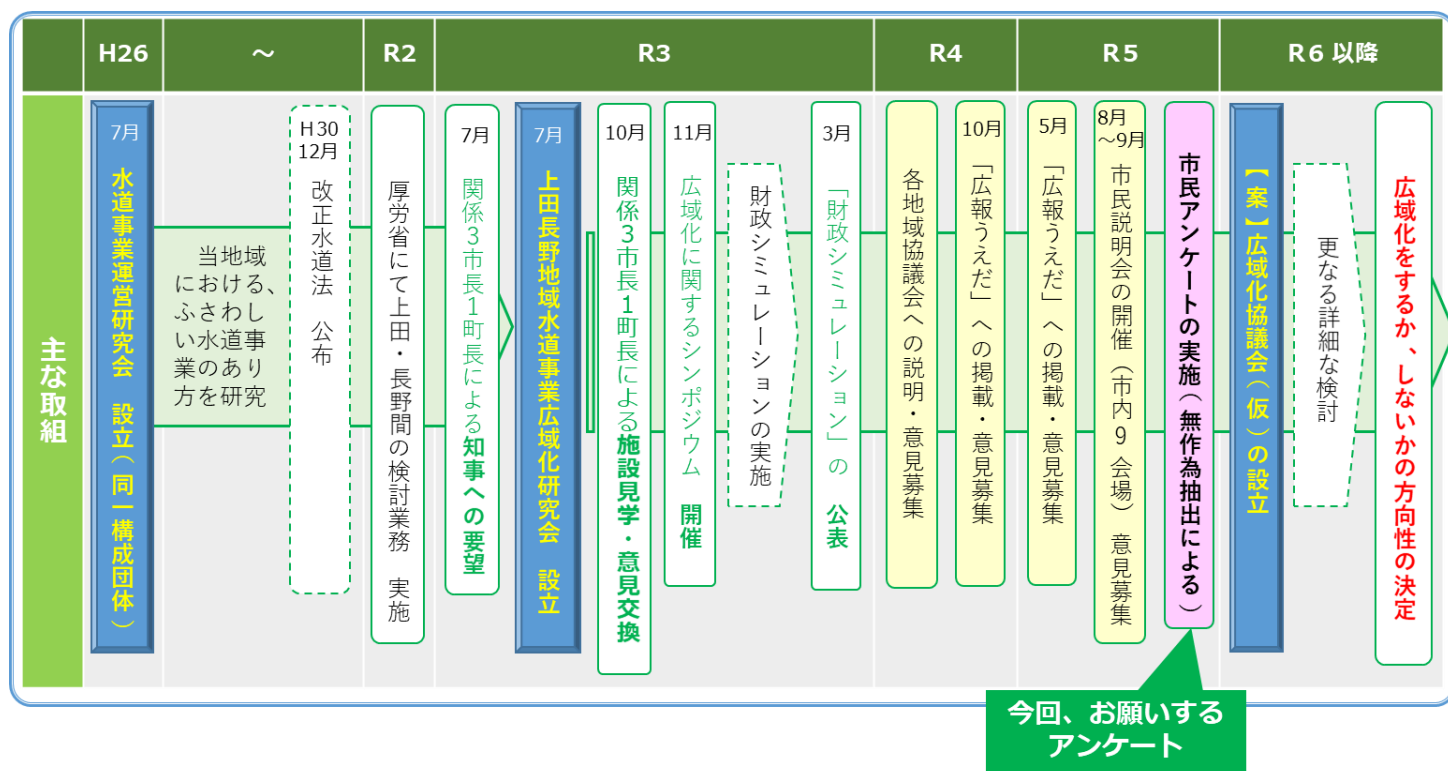
お客様窓口を集約した場合にサービスの低下を招いたり、自治体の意向が反映されづらくなると言われています。

下水道事業を分離することから、下水道事業業務の効率の低下が懸念されます。



今後、これらを補う(おぎなう)対策を検討します。

# これまでの経過と今後（広域化研究会及び上田市の取り組み）



## 市民説明会などで出されたご意見（抜粋）

### 【広域化に賛成】

- ・ 専門知識を持った人材が不足していくことが確実な中、広域化は必要。
- ・ 人口減少社会の到来を見据えての広域化の検討は有意義であり、実現を期待している。
- ・ 未来に合った考え方をもって前に進んでいく必要があり、デメリットは解決していけば良い。
- ・ 単独で事業を続けるのは難しい。資金的にも人的にも流域全体で協力していくのは当然。

### 【どちらかといえば賛成】

- ・ 将来の水道料金の上昇幅を小さくするためにも、賛成するしかないと思う。

### 【どちらかといえば反対】

- ・ 広域化ありきで話が進んでいる気がする。上田市にとってどれだけメリットがあるか疑問。
- ・ 自律性の低下や民営化への布石になってしまう危険性がある。
- ・ 上田市は上流にあるので長野市・千曲市など、下流域の負担を上田市が受けるのではないかと不安。

### 【反対】

- ・ 上田市だけでも十分やっていけるのではないかと不安。
- ・ 運営組織・窓口が遠くなり、サービスが低下するのではないかと不安。
- ・ 災害が起こった場合、小規模の方が応急の体制が取り易い。

### 【自由意見】

- ・ 水道事業は、独占したライフラインなので、とにかく安定・安心できる体制が一番大切。そのためには、多少料金が上がってもやむを得ない。
- ・ 水道水は私たちの命の水ですが、どうして独立採算制なのか理解できない。税金を投入して施設の老朽化の更新や補強などをしたらいいと考えます。
- ・ 上田市営水道はあまりに施設の更新率等の数値が低すぎる。だから単価が低いとも言える。料金が安ければ良いという議論には問題がある。
- ・ 下水道事業の広域化も是非進めてもらいたい。
- ・ 孫の世代のためにも良くなるよう検討して欲しい。

5 経 第 300 号  
令和5年11月29日

上田市上下水道審議会  
会長 渡辺 ゆかり 様

上田市長 土 屋 陽



### 諮 問 書

上田市上下水道審議会条例第2条の規定に基づき、下記のとおり諮問します。

### 記

- 1 諮問事項 上田市水道事業の今後のあり方について
- 2 諮問理由 水道は生活に欠かすことのできない重要なライフラインの一つであり、人口減少社会の中でも、安全・安心な水道水を届けることが重要です。そのため、持続可能な水道事業経営に向けた基盤強化を図る必要があり、一つの手段として、国や県からも広域化推進方針が示されております。  
上田市の水道事業は、水需要の減少に伴う料金収入の減少、施設の老朽化や深刻化する人材不足などの課題を抱えることから、現在、「上田・長野間における水道事業広域化」の検討をしています。  
つきましては、上田市水道事業の今後のあり方について多角的な視点から御審議いただきたく、貴審議会に諮問いたします。